

領域	助産診断・技術学	授業科目	助産過程・技術学Ⅰ（妊娠期・胎児期）		
単位（授業時間/時間数）	2（36/45）	授業回数	18回	開講時期	前期
担当講師名	専任教員	講師所属	福岡水巻看護助産学校		
特記事項	実務経験のある教員による科目		臨床（病院）での助産師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行なう		

科目目標

妊娠期の経過診断の技法を習得し、ケアについて理解する。

授業目標

1. 妊婦の健康診査に必要な技術を習得する。
2. 妊娠期の保健指導のポイントが理解できる。
3. ハイリスク・異常妊婦に対する支援について理解する。

授業内容

1. 妊娠期の助産診断
 - 1) 妊娠期の助産診断の特徴と診断類型
 - 2) 妊娠期のフィジカルアセスメント
 - 3) 健康生活の診断と保健指導
2. 妊婦への支援
 - 1) 日常生活適応へのケア
 - 2) 親になる準備へのケア
 - 3) 心理・社会的ケア
3. ハイリスク・異常妊婦のアセスメントと支援

授業の進め方

講義 演習

教科書

助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ [1] 妊娠期（医学書院）
 助産師基礎教育テキスト 第4巻 妊娠期の診断とケア（日本看護協会出版会）
 助産師基礎教育テキスト 第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア（日本看護協会出版会）
 今日の助産（南江堂） 実践 マタニティ診断（医学書院） マタニティ診断ガイドブック（医学書院）
 胎児心拍数モニタリング講座（メディカ出版） 写真でわかる助産技術（インターメディカ）
 周産期超音波のみかた（メディカ出版） 病気がみえる⑩産科（MEDIC MEDIA）

参考図書

標準産科婦人科学（医学書院）
 プライマル・ヘルス（メディカ出版）
 心により添う助産術実践テキスト（メディカ出版）
 助産師のためのフィジカルエグザミネーション（医学書院）

評価方法

終講時 客観式テスト（100点）

領域	助産診断・技術学	授業科目	助産過程・技術学Ⅰ（妊娠期・胎児期）		
単位（授業時間/時間数）	2（4/45）	授業回数	2回	開講時期	前期
担当講師名	非常勤講師	講師所属			
特記事項					

科目目標

妊娠期の経過診断の技法を習得し、ケアについて理解する。

授業目標

1. 出産前準備教育のポイントが理解できる。

授業内容

1. 親になる準備へのケア
 - 1) 母親学級の目的
 - 2) 母親学級の方法と実際

授業の進め方

演習

教科書

- 助産学講座5 助産診断・技術学Ⅰ（医学書院）
 助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ [1] 妊娠期（医学書院）
 助産師基礎教育テキスト 第4巻 妊娠期の診断とケア（日本看護協会出版会）

参考図書

産む力の咲かせ方（メディカ出版）

評価方法

出席および講義参加状況にて評価

領域	助産診断・技術学	授業科目	助産過程・技術学 I (妊娠期・胎児期)		
単位 (授業時間/時間数)	4 (4 / 45)	授業回数	2 回	開講時期	前期
担当講師名	非常勤講師	講師所属			
特記事項	—		—		

科目目標

妊娠期の初期検査および経過診断の技法を習得し、ケアについて理解する。

授業目標

子宮がんの病態を理解し、子宮細胞診検査の実際が理解できる。

超音波画像診断の原理及び使い方が理解できる。

授業内容

1. 子宮細胞診検査
 - 1) 子宮頸がん、子宮体がんの病態、検査、治療
 - (1) 細胞診の実際

2. ME 機器と超音波画像診断
 - 1) 超音波検査の実際
 - (1) 超音波とは
 - (2) 超音波断層法の原理
 - (3) 超音波断層装置の使い方
 - (4) 妊娠初期の確認事項
 - (5) 妊娠中期・後期の確認事項

授業の進め方

講義 演習

教科書

病気が見える⑨ 婦人科・乳腺外科
 周産期超音波のみかた (メディカ出版)

評価方法

出席および講義参加状況にて評価